恩師と語る

高橋　健（たけし）先生（体育）
（S39.4～S57.3在任）

高橋　洋子（ひろこ）先生（体育）
（H3.4～H15.3在任）

インタビュアー　柳田　雅美（高5回）
米澤　泰子（高25回）
鈴木恵美子（高25回）

平成17年10月3日。小田原市小竹のご自宅に、高橋健先生・洋子先生をお訪ねしました。

お二人は江南高校ではご一緒の時期こそありませんでしたが、30数年来の仲のよいご夫婦です。

洋子先生は江南の卒業生（高13回）でもあります。

近況と江南高校での思い出など、楽しくお話しいただきました。

――健先生。秦野南ヶ丘高校校長を務められ、四年前に定年を迎えられましたが、現在はどのようにお過ごしですか。

健「明るくなると起き、暗くなると寝る。という生活です（笑）。

実は平成3年。50才の時に自宅で脳出血で倒れ、二ヶ月ほど入院することになりました。入院当初は寝たきり。そして車イス、歩行器…。歩行器で自力で歩けた時には、本当にうれしかったです。

当時は藤沢の県体育センターが職場でした。体に異変を感じつつも、忙しさにかまけて、病院に行かなかったのです。

退院後、仕事にはすぐ戻れたのですが、リハビリは続けなければなりませんでした。実は、今でも以前のような運動神経は戻っていないのです。急ぎ足で歩いたりするのは、今でも苦手です。」

洋「入院当初、お医者様から“足にはほとんど障害は残りません”と言っていただいたのですが、少しリハビリが足りなかったのでしょうか。まだ、もと通りとは言えないんです。」

――普段の血圧はどうだったのですか。

健「普段から180～190で高かったんです。太りすぎもいけなかったようです。当時の体重は98kg。現在は82～83kgです。血圧も正常ですし、二ヶ月に一度のペースで病院に行っていますが、病院では、“模範囚”と言われています（笑）。」

――健康な生活を送るためのアドバイスはありますか。

健「肥満はいけません。そして早めに病院に行くことですね。」

――ありがとうございました。

では、洋子先生。退職されて三年目ですが、どのようにお過ごしですか。

洋「教員生活38年間、ずっと仕事と部活に追われる日々でした。その全部をなくしてしまうと変になりそうなので、趣味をいろいろと持っています。なので毎日のように出かけてばかりです。」

現在のお二人

――どんな趣味ですか。

洋「まずは週1～2回の茶道。神田高校の開校時に茶道部の顧問になったことがきっかけで習い始めました。江南でも茶道部の顧問でしたので、それ以来ずっと続けています。

あと、ニットソーイング。ロックミシンで二ット生地の服を作るんです。

そして、英会話。海外旅行先で、自分で会話ができたらいいな、と思ったんです。今年はカナダに行ってきました。」

――英会話の成果は発揮できましたか。

洋「しゃべる方は、カタコトでも自分のペースなのでいいのですが、聞き取りは難しかったです。」

――旅行にはお二人で行かれたのですか。

洋「一緒に行くつもりで計画したのですが、いざとなったら主人はやめるというので、結局、私一人で行きました。」

健「行きたくなくなったのではなく、同行の方たちのペースで一緒に行動する自信がなかったので遠慮したのです。」

昭和39年 柔道部員と

――それは残念でしたね。一緒に出かけられる様なプランがあるといいですね。では、お二人で一緒にされることはありますか。

健「月に一度くらいのペースで美術館や観劇に出かけています。特に劇団四季のミュージカルは『キャッツ』『ライオンキング』『マンマ・ミーア』『オペラ座の怪人』など、いろいろ行っています。」

お二人を囲んでインタビュー

洋「『キャッツ』は東京・大阪・名古屋で…。今年5月に再度、東京で見ました。『ライオンキング』は東京と福岡で…。名古屋に行って名古屋弁のものも見たいですね。

私は大学4年の頃からダンスの授業のために教育舞踊（モダンダンス）を始めました。

劇団四季のミュージカルはダンスはもちろん、舞台の作りもすばらしく、楽しみながら為になりました。」

――劇団四季以外にも、たとえば、渋谷『歌舞伎』とかは行かれますか。

洋「行きます。県の振興会に入っているので、案内があればいろいろと何でも…。『歌舞伎』、四季以外のミュージカル『モーツァルト』『ラ・マンチャの男』とかも…。」

――本当にたくさん芸術鑑賞されているんですね。うらやましいですね。

では、ここで江南高校時代を振り返っていただきたいのですが…。

健「昭和39年、新卒で赴任して以来、18年間おりました。

昭和57年4月。離任式の時、退場の花道で生徒たちに囲まれ、体が宙に浮いてしまったのです。“胴上げ”ですよ。

感動で涙が止まらなかったです。今でも思い出すと胸が熱くなります。」

――柔道部の顧問をされていましたが思い出はありますか。

昭和40年代前半 陸上競技大会

健「新任の年。私が柔道を専門にしているというので新入部員がなんと40数名も入ったんです。私も私自身のモットー『常に真剣に』の姿勢で、はりきって指導にあたったのです。ところが部員たちには、きつかったのでしょうか。次々に退部してしまい、最後まで残ったのは6～7人でした。

江南の現校長の朝野先生（高19回）は、その残った部員の一人だったんですよ。真面目な部員でした。」

――では、洋子先生の思い出はいかがですか。

洋「一つは茶道部が校外でも活動を始めたことです。

はじめは、県高文連主催の高校生茶会に客としての参加でしたが、平成13年度の夏には県の国際交流事業で韓国の高校生とお茶を通しての交流を体験しました。

秋には江南高校を会場に『第七回高校生茶会』が開催され、近隣の高校生と協力して、多くのお客様を迎え実力を発揮しました。ちょうどこの年は江南高校の創立80周年にあたり、同窓会からの援助費で道具（釜一式）を買っていただいたのですが、この道具が大いに役立ちました。

また、平成14年度には、神奈川県で高文連の全国大会が開かれ、この時も総合開会式・小田原アリーナ会場立礼による呈茶等への参加と、学校の外で、勉強以外の場面で仲間と協力する機会に恵まれ、よかったと思いました。ここでも、同窓会で買っていただいた道具が大活躍しました。

平成13年度 国際交流事業

――同窓会がお役に立ったのですね。

洋「はい、おかげ様で。

もう一つは授業でのダンスです。“主題を掘り下げ、それに合った動きを見つけ、皆の前で発表する”の連続で生徒たちは大変だったと思いますが、“はっ”とさせられることもしばしばでした。

それらの成果が勤務最後の年の体育祭の“仮装”に生かされていて感激しました。」

――仮装のダンスは江南の体育祭の目玉ですものね。

洋子先生の授業中の特訓のおかげだったんですね。

同窓会の援助費も部活に反映されて、本当によかったです。

まだまだお若いお二人。第二の人生は始まったばかりです。

平成14年度 茶道部員と

これからも、それぞれにご自身の時間を大切にしつつ、お二人の時間も存分にお楽しみ下さい。

本日はどうもありがとうございました。

着任のあいさつ

校長　朝野　哲夫

同窓会員の皆様お久し振りでございます。この10年間の卒業生の皆さん初めまして。高19回生（江南幼稚園は5回生）で旧職員（元校内幹事）の朝野でございます。昨年3月31日付の人事異動の新聞を見られた方や、この会報をご覧になった方々の「何で…」、「大丈夫かい…」等々のお声が聞こえてくる思いです。

15年間社会科教諭として勤務した後、県教育委員会高校教育課、教職員課、豊田、平商、都岡（旭陵）の各高校を経て12年ぶりに戻って参りました。幼稚園以来、おおよそ10年毎に江南のお世話になり、何やらお釈迦様の掌をぐるぐる廻ったような、ハレー彗星のような気もしています。

さて、神奈川県の高校改革も後期に入り、改革の波が江南にも押し寄せてきています。平成17年度入試から本校は独自入試問題を作成し、また、学区は撤廃されました。

黙っていても優秀な生徒が入学してくる時代は終わり、私学並みに積極的に江南の魅力・特色を広報しなければ取り残される状況が生まれつつあります。微力ですが伝統ある母校の実績を汚さぬよう努力して参る所存でございますので、落前校長同様宜しくご支援の程お願い申し上げます。

司窓会開催の詐欺ご注意！　最近、“○○回の同窓会を開催しますので○○銀行に会費を振り込んで下さい”と実在の幹事名を

倉庫・運輸業
湘南旭商事㈱
平塚市真土西真土3-9-28
TEL.0463-54-5966
柳川貞夫（高5回）

エクステリア施工一式
神奈川ブロック工業
不動産賃付
㈲アール企画
高橋烈雄（高8回）
平塚市四之宮5－23－30　TEL.0463-55-1851　FAX.0463-54-7091

社員研修・情報システム教育の企画運営
有限会社 エス・イー・コンサルティング
〒254-0073 平塚市西八幡3－6－7
TEL.0463－21－2715
中瀬達雄（高5回）

無農薬栽培米扱っております
持田米店
持田　修（高13回）
〒254-0032 平塚市八千代町8－9
TEL.0463-21-2306 FAX.0463-23-5723